

R6.7.30 「第2回Global×Innovation人材育成フォーラム」発表資料

広島県における 留学促進・グローバル人材育成に係る取組

広島県知事
湯崎英彦



広島県の乳幼児期から大学・社会人まで一貫した取組

- 「乳幼児期から大学・社会人まで」を見据え、学校・家庭・地域、さらには経済界や産業界も含めた
- 「オール広島県」で、「生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と協働して新たな価値を創造する」とのできる人材」を育成



「遊び 学び 育つひろしまっ子！」 推進プラン

- ・全県で乳幼児期における質の高い教育・保育を総合的に推進
- ・異文化の受入の基礎となる、多様性を受け入れ、様々な人とのよい関係を築く力「人とかかわる力」を育成

「学びの变革」アクション・プラン

- ・小・中・高等学校における課題発見・解決学習をはじめとした「主体的な学び」を促す教育活動を推進

広島教智学園の開校^[H31.4]

- ・生徒全員が一貫した国際バカロレアの教育プログラムを履修する全国初の公立学校

異文化間協働活動の推進

- ・小中高で連携した姉妹校受入
- ・高校段階での海外留学の促進
- ・全県立学校（特別支援学校を含む）での海外姉妹校提携

観啓大学の開学^[R3.4]

- ・既存の公立大学法人の下に新大学を設置し、「解のない課題に果敢にチャレンジし、新しい時代を切り開いていく人材」を育成する新たな教育モデルを構築

留学生の受入・定着の促進

- ・広島県留生活躍支援センターを核として、留学生の受入から定着までを総合的に支援
- ・留学生倍増計画による外国人留学生受入人数の倍増

ものづくりグローバル人材の育成

- ・産学官で連携して、優秀な理工系留学生を受け入れ、県内への就職を促進

県立広島大学にMBAを開設^[H28.4]

- ・経営専門職大学院を開設し、県内産業を支える実践力のある経営人材を育成

イノベーション人材等育成

- ・中小・中堅企業が社員を国内外の研修に派遣する費用の支援

広島県における取組の経緯（高等学校段階）

Phase1

県立学校海外交流推進事業（H23年度～H26年度）
全ての県立学校で姉妹校交流を実施

Phase2

異文化間協働活動推進事業（H27年度～現在）
海外留学促進の取組充実

Phase3

広島叡智学園開校（H31年度～現在）
「学びの変革」を先導的に実践する全寮制中高一貫校の設置



成果・課題

Phase1

県立学校海外交流事業（平成23年度～平成26年度）

◆すべての県立学校において海外の学校との姉妹校交流を実施

【昭和59年度～平成22年度】

県立学校13校が
海外姉妹校19校と姉妹校締結

国・地域	校数
アメリカ	7校
イギリス	2校
オーストラリア	1校
ニュージーランド	2校
中国	3校
韓国	2校
台湾	2校



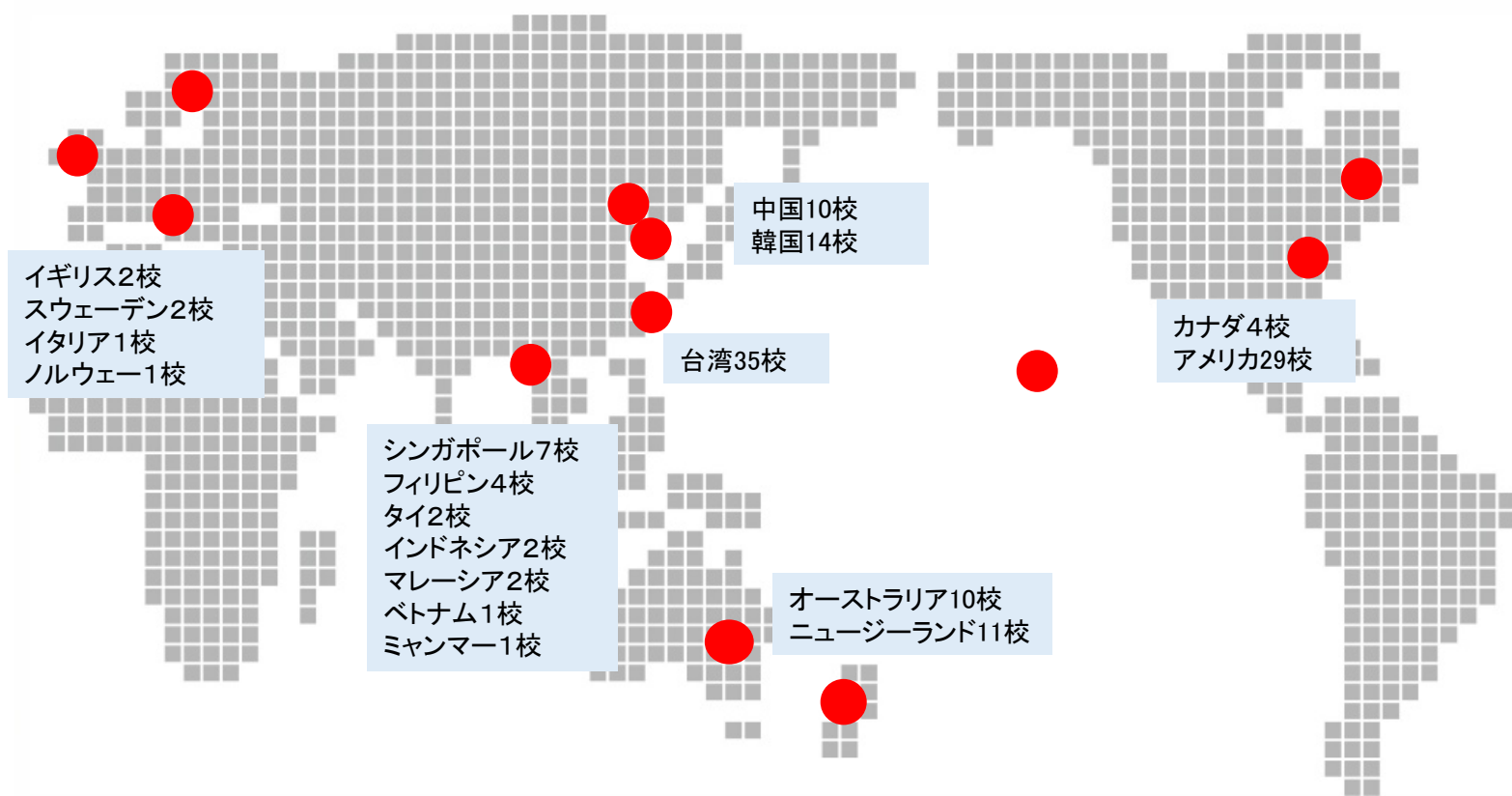
【平成23年度～平成26年度】

県立学校84校が
海外姉妹校97校と姉妹校締結

国・地域	校数	国・地域	校数
アメリカ	18校	カナダ	4校
イギリス	1校	スウェーデン	2校
オーストラリア	6校	ノルウェー	1校
ニュージーランド	9校	シンガポール	5校
中国	7校	タイ	2校
韓国	14校	マレーシア	2校
台湾	25校	フィリピン	1校

Phase1

県立学校海外交流事業（平成23年度～平成26年度）



[令和6年4月現在] 18の国・地域 138校と姉妹校提携

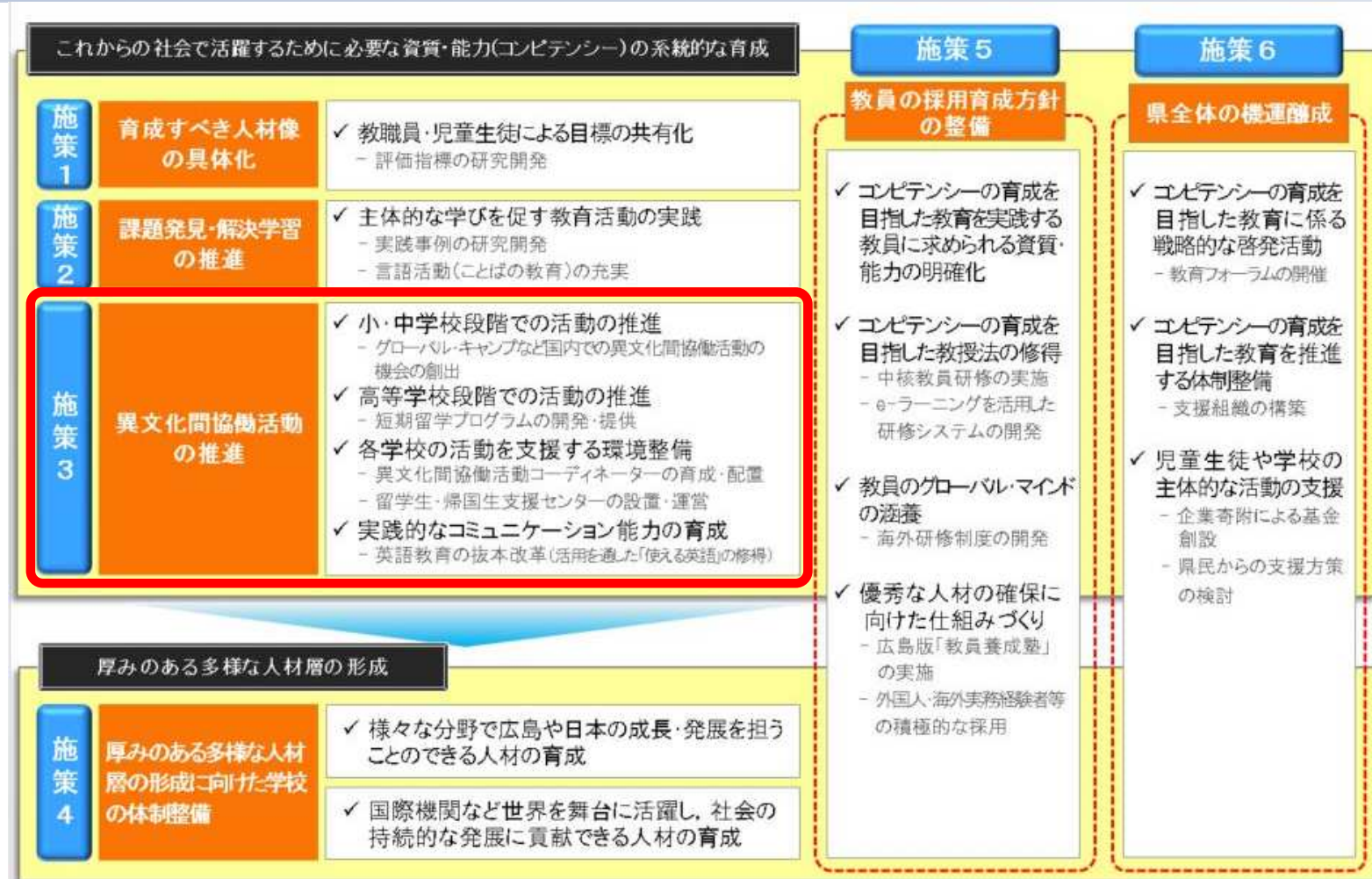
県立学校海外交流事業（平成23年度～平成26年度）



Phase2

異文化間協働活動推進事業（平成27年度～）

◆「広島版『学びの変革』アクション・プラン」策定（H26）



異文化間協働活動推進事業（平成27年度～）

短期留学プログラムの開発・提供

✓ 海外の自治体との教育協定に基づく短期留学プログラム例
(オーストラリア・クイーンズランド州)

[illegible]

於：ケアンズステイトハイスクール



現地の生徒を前に広島県のレモンについてプレゼン

Phase2

異文化間協働活動推進事業（平成27年度～）

◆高校生の海外留学等に係る補助金等支援制度

区 分	広島県教育委員会高校生海外留学補助金		広島県高等学校等奨学金
	県予算（国庫補助活用）	県予算	県予算
対 象	県内の高校生	県立学校の生徒	高校生 （保護者が広島県内に住所を有する）
派遣期間	原則，10日以上1年未満 （移動期間は除く）	原則，3か月以上	2週間以上
内 容	学校や地方公共団体，高校生の留学・交流を扱う民間団体等が主催する短期の海外派遣プログラムに学校教育活動の一環として参加する生徒 ※成績要件有り	学校や留学団体等が主催する海外派遣プログラムに参加する生徒 （姉妹港長期留学，交換留学等） ※留学団体等を通じる場合には，留学団体等が実施する選考試験有り	外国の教育施設において，教育を受ける又は受けた生徒
支援内容	給付 上限6万円/人 （対象；海外渡航費・授業料等）	給付 上限30万円/人 （対象；海外渡航費・授業料等）	貸付（無利息） 短期（2週間以上3か月未満） 上限20万円/人 長期（3か月以上） 上限50万円/人

Phase2

異文化間協働活動推進事業（平成27年度～）

◆異文化間協働活動支援員の配置

◆留学冊子やイベントの開催（機運醸成）

異文化間協働活動支援員について

▶ 人数

2名（会計年度任用職員）

▶ 業務内容

- ✓ 留学フォーラム等のイベントの企画・運営
- ✓ ホームページ等を活用した情報発信
- ✓ 留学助成金の交付手続き
- ✓ 留学奨学金の貸付・償還手続き
- ✓ 留学希望者からの相談対応



Phase3

広島叡智学園開校(H31年度～)

◆Hiroshima Global Academy

▶ 開校年月日

平成31年4月1日



▶ 所在地

広島県豊田郡大崎上島町大串3137-2

▶ 定員

中学校段階：1学年40名

高等学校段階：1学年60名

(高等学校段階から外国人等留学生20名の枠が追加)



Phase3

広島叡智学園開校(H31年度～)

◆Hiroshima Global Academy

▶ ミッション

持続可能な社会を構築し、国際社会の平和と発展に貢献できる人材の育成

→広島に対する深い愛着とともに、世界の舞台で通用する高度な資質・能力
(論理的思考・表現力、課題発見・解決力など)を育成

Phase3

広島叡智学園開校(H31年度～) Hiroshima Global Academy

▶ 特長 1

国際バカロレア認定校である中高一貫校

※国際バカロレア

課題論文、批判的思考の探究等の特色的なカリキュラム、双方向・協働型授業により、グローバル化に対応した素養・能力を育成する教育プログラム。高等学校段階のプログラムは国際的に通用する大学入学資格（IB資格）が取得可能。

（文部科学省「国際バカロレアの普及促進に向けた検討に係る有識者会議」取りまとめ参考資料集より）



Phase3

広島叡智学園開校(H31年度～) ◆Hiroshima Global Academy

▶ 特長2

異年齢・多国籍ユニットでの全寮制

⇒〔令和6年4月現在〕14の国からの生徒を受入

外国人留学生の出身地

アメリカ、カナダ、メキシコ、イタリア、スウェーデン、
ウガンダ、ガーナ、インド、シンガポール、タイ、フィリピン、
中国、サモア、ニュージーランド

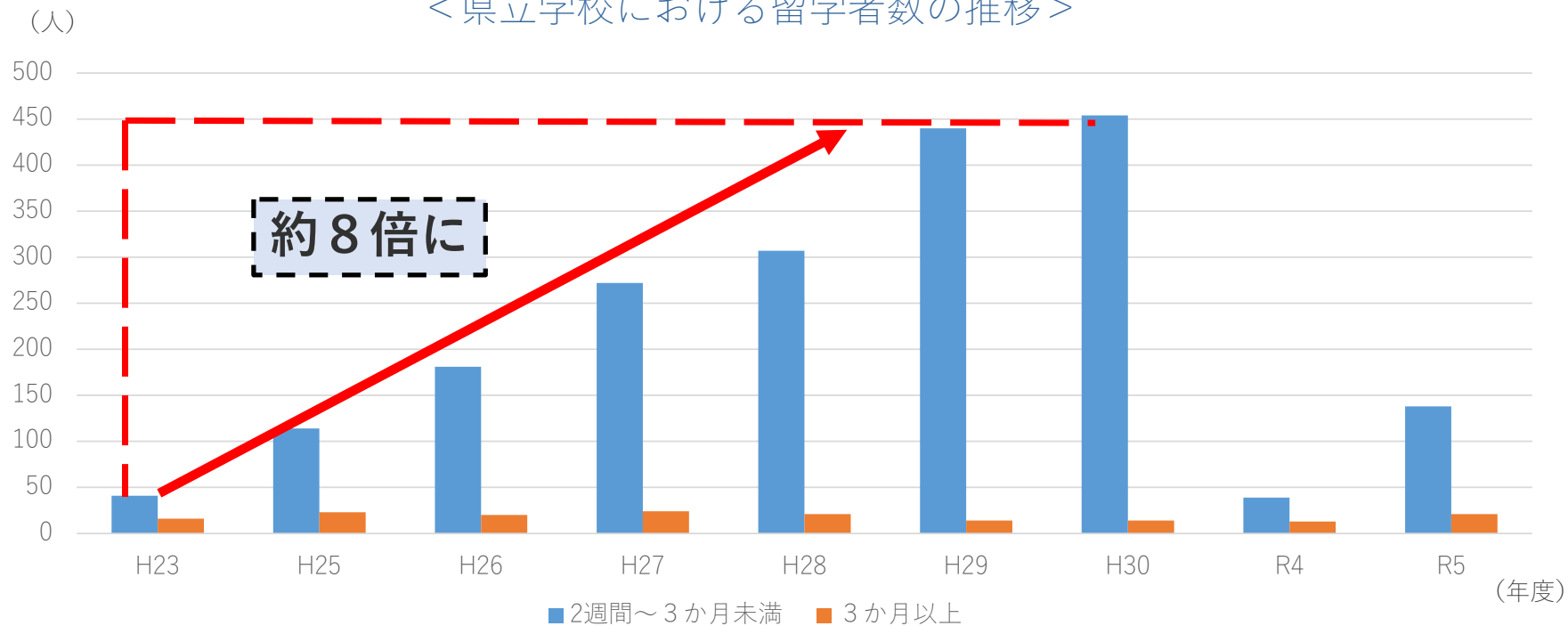


成果

留学者数の状況

- ◆ 平成30年度には平成23年度の約8倍の留学者数
- ◆ 令和5年度以降留学者数は回復傾向

< 県立学校における留学者数の推移 >



成果

意識の変容

◆高校生の留学体験談から

✓ 高3・アメリカ

ニューヨークの街で多くの路上生活者を目にした。

「すべての人間が豊かな生活を送ることができる社会の実現に向けて自分には何ができるのか」と考えるきっかけとなった。大学では国際関係分野について学びたい。

✓ 高2・オーストラリア

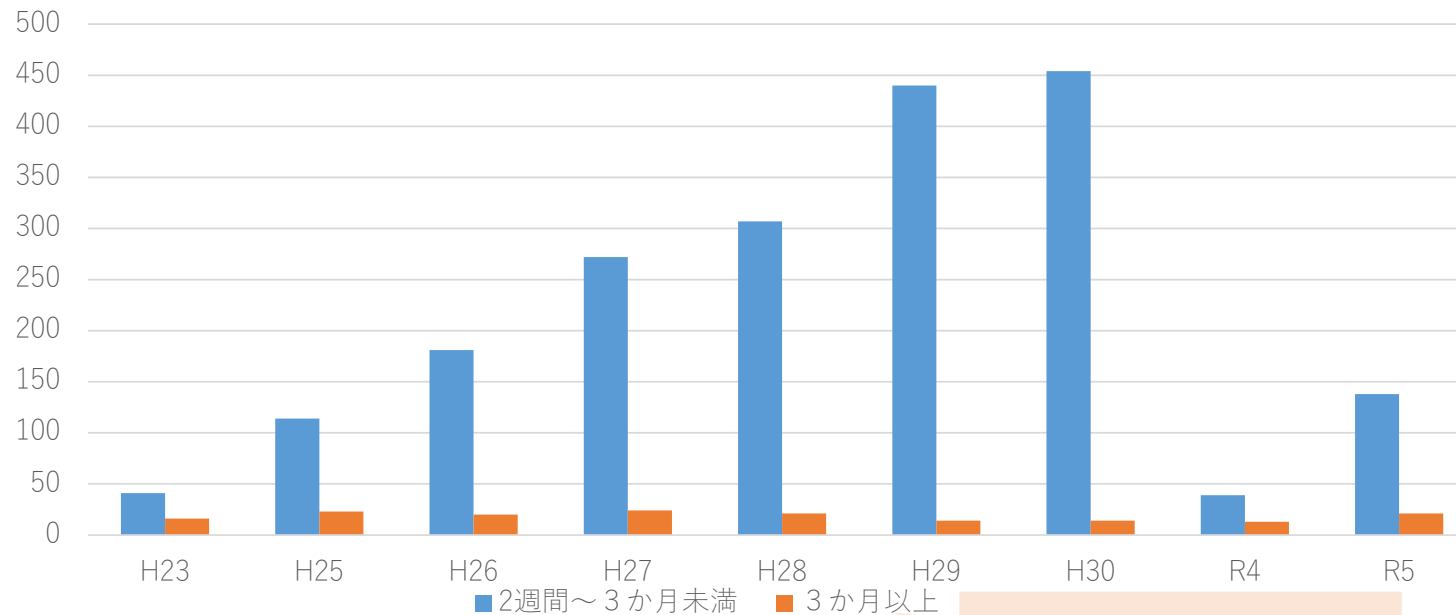
初めての海外だったが、自分の固定観念が壊されるような感覚を多く経験し、当たり前とは何かを考えさせるきっかけとなった。高校入学時からずっと変わらなかった進路希望だが、海外大学への進学も検討しようと考えている。

課題

今後の課題

- ◆ 長期（3か月以上）の留学を促進していく必要がある。

< 県立学校における留学者数の推移（再掲） >



短期留学に比べて
参加者数が少ない